



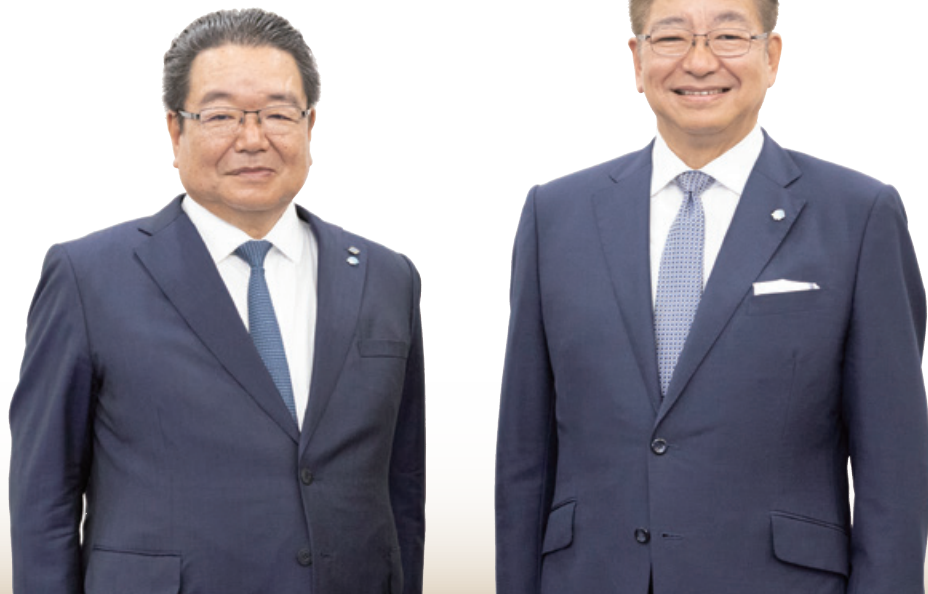
株式会社 エフピコ

証券コード：7947

第62期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日





代表取締役社長

安田和之

代表取締役会長 (兼)
エフピコグループ代表

佐藤守正

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、マーケティングを通じた需要の深掘りに加え、新市場の開拓やエコ製品の拡販およびプラスチック使用量を削減した製品の開発を積極的に進めております。

新たに開発した低発泡PSPシートと当社グループが培ってきた成形技術で製造した低発泡の祝賀桶、氷河桶は、従来の非発泡製品のシャープな形状はそのままに、プラスチック使用量を約60%削減させることができました。売上拡大に大きく寄与することを確認させる製品であり、順次シリーズを拡大してまいります。

本年9月からは、当社グループに九州地区における包装資材シェア第2位の株式会社アパックスが加わりました。当社グループのインフラを活かして経営改善を図り、一層の拡販を進めます。

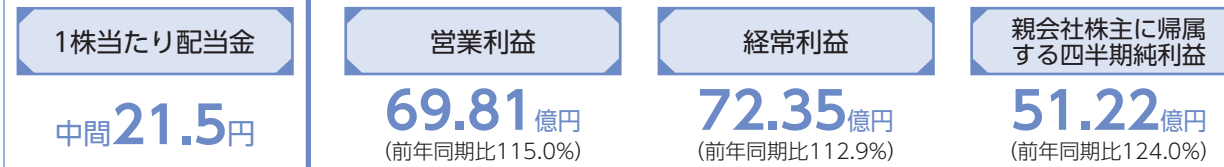
さらに、おかげさまでリサイクル工場の見学者数が累計50万人を突破いたしました。食品トレー・透明容器の循環型リサイクルが地域に根付くことができましたのも、皆様方のご理解とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

また、初の海外進出となるLee Soon Seng Plastic Industries Sdn. Bhd. (以下、LSSPI社) におきましても、順調に生産性が向上しております。

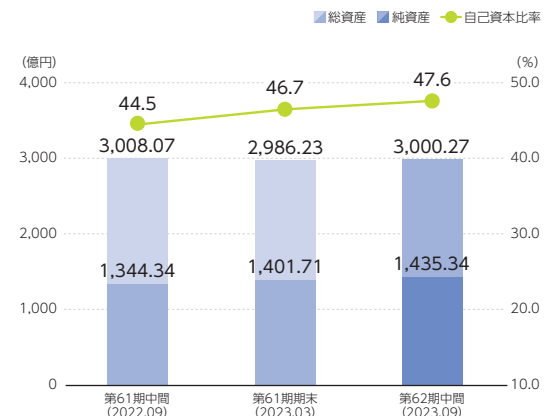
今後とも時代の要請を先取りした容器の開発を進め、安心安全で豊かな食生活の創造と持続可能な社会の実現に一層の役割を果たしてまいります所存でございます。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の経常利益は、前年同期に対して8億25百万円の増益となりました。増加要因については、第二次製品価格改定（2022年4月28日公表）や各部門における改善効果のほか、エコ製品（エコトレイ、エコAPET、エコOPET）や惣菜向けなどの付加価値の高い製品の販売が堅調に推移しております。一方、減少要因については、原料・電力価格の上昇、人材の確保・定着に向けて大幅な賃上げをしたことによる人件費および労務費の増加、前期に稼働を開始した関西工場・関西ハブセンターによる減価償却費の増加などがありました。なお、期初計画に対しては、前連結会計年度までに実施した二度にわたる製品価格改定の効果が維持できたことにより、6億35百万円の上振れとなっております。

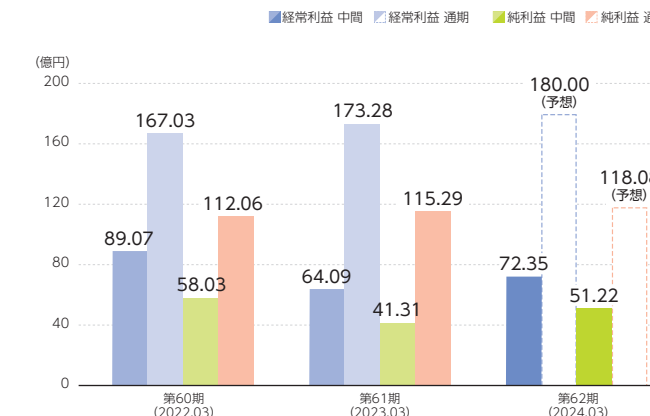
製品売上数量については、食品を中心とした幅広い物価上昇が続く中、スーパーマーケットにおける買い上げ点数の減少の影響があり、前年同期比98.8%と若干下回ったものの、9月度単月では前年を上回る100.6%となりました。



総資産／純資産／自己資本比率



経常利益／純利益



お店から始まるリサイクル「ストアtoストア」の取り組み

お店で使用・販売された食品トレー・ペットボトルは、その「お店」で回収し、エフピコで食品トレー・透明容器に再生して、その「お店」で積極的にご使用いただく。このお店を発着点としたストアtoストアの取り組みをさらに推進してまいります。

「ストアtoストア」の流れ



リサイクルした食品トレー・透明容器はCO₂排出量も削減

CO₂排出量
-30%



リサイクル工場の見学者が累計50万人を突破しました

リサイクル工場の見学開始は1990年4月。2023年10月に、見学にお越しくださいました皆さまの累計が50万人を突破しました。消費者の皆さま、お取引先さま、業界団体の皆さま、学校関係者の皆さまなど、今までにお越しくださいましたすべての方々から感謝申し上げます。

福山リサイクル工場、関東リサイクル工場 50万人達成の感謝をお伝えしました。

2023年10月10日 福山リサイクル工場



2023年10月11日 関東リサイクル工場



今後も工場見学を通じて、リサイクルの取り組みについてご説明するとともに、ご協力への感謝の気持ちをお伝えしてまいります。
リサイクルのさらなる拡大に向けて、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

発泡技術によるプラスチック使用量削減！

積水化成工業株式会社様と共同で開発した「強度と伸び」を備えた新たな低発泡PSPシートと当社の成形技術を掛け合わせるにより、大型寿司桶容器など、非発泡製品と比較しても遜色のないシャープな形状での低発泡・軽量の製品化が実現しました。

新技術

低発泡
PSPシート × 成形技術

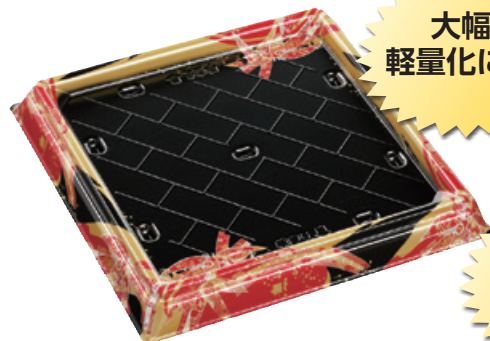
特許出願中

HIPS (従来品) に比べて

約60%軽量化 (本体)

プラスチック使用量の削減

「祝賀桶PT」



大幅な
軽量化に成功

環境に配慮

「氷河桶PT」



シャープで
美しい形状

HIPSって？ HIPS (ハイインパクトポリスチレン) とは発泡させていないポリスチレンのこと

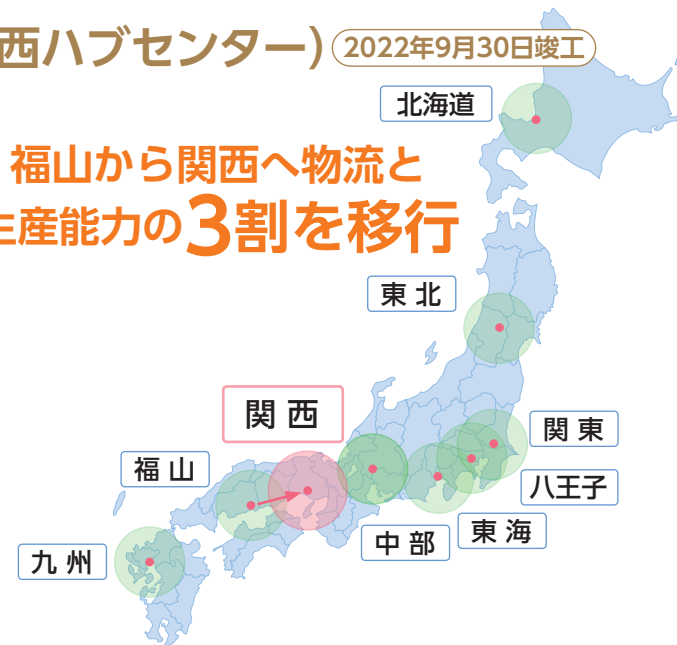
▶ 関西新拠点 (関西工場・関西ハブセンター) 2022年9月30日竣工

- ✓ 配送距離の短縮
- ✓ 2024年問題の対応
(ドライバー不足+時間外労働の上限規制)
- ✓ 工場間輸送の削減

福山から関西へ物流と
生産能力の3割を移行

さらなる安定供給体制へ

半径100kmで主要都市を含む
全人口の85%をカバーする
ネットワークが完成しました



▶ LSSPI社 (2022年8月31日 株式40%を取得) 3か年計画「2倍の生産性へ」

エフピコのノウハウによって

- 成形スピードアップ
- 自動化、省人化の推進
- 成形サイクルの短縮

さらに防曇、かん合などの技術を用いた
付加価値の高い製品の開発を目指します



▶ 会社の概況 (2023年9月30日現在)

社名 株式会社エフピコ
FP CORPORATION
福山本社 〒721-8607
広島県福山市曙町一丁目13番15号
TEL 084-953-1145 (代表)
東京本社 〒163-6036
東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
新宿オークタワー36F
TEL 03-5320-0717 (代表)
設立 1962年7月24日
資本金 13,150百万円

▶ 株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数 240,000,000株
発行済株式の総数 84,568,424株
株主数 6,650名

▶ 大株主の状況 (上位10名) (2023年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社小松安弘興産	28,778	35.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,256	10.08
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,006	6.12
積水化成品工業株式会社	2,865	3.50
株式会社西日本シティ銀行	1,760	2.15
エフピコ共栄会	1,600	1.95
住友生命保険相互会社 常任代理人 株式会社日本カストディ銀行	1,405	1.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託積水化成品工業口)	1,200	1.47
第一生命保険株式会社 常任代理人 株式会社日本カストディ銀行	1,102	1.35
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,091	1.33

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式数 (2,696,988株) を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

公告の方法 電子公告
公告掲載URL <https://www.fpco.jp/>
(ただし、電子公告によることができない
事故、その他やむを得ない事由が生じた
ときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- ご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法の変更などについては、お取引のある証券会社にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座の口座管理機関にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店および全国各支店でお支払いいたします。

株主総会資料ウェブ化のお知らせ

会社法改正により、2023年3月以降の株主総会から、株主総会資料が原則ウェブ化されました。
議決権行使書は原則、今までどおりお送りいたしますが、書面での株主総会資料の受領を希望される株主様は、基準日である2024年3月31日までに書面交付請求のお手続きをお願いいたします。
お手続き方法については、口座を開設されている証券会社または三菱UFJ信託銀行にお問合せください。
本制度について詳しくはこちら→<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>

